



*Seven Generations*

---

# SG2022 2022年度「活動計画」

2022年2月

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ



# セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？

## Mission

わたしたちは、持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

## Value

### 1. 人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

### 2. つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

### 3. 対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

### 4. プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

### 5. オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

### 6. 問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

### 7. 体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



# セブン・ジェネレーションズ(SG)設立趣意書

## 【設立趣意書より抜粋】

私たちは、引き続き、すべての人が環境的に持続可能で、公正で、精神的に充足して生きる社会が同時に実現されるものであるということを、より多くの人々が理解し、意識や行動の変化を促すために、社会教育事業、人材育成助成事業、普及啓発事業、研究調査事業など各種の事業を行い、智慧と力を合わせ、七世代先まで持続可能な市民社会を実現しようとしています。

「速く行きたいときは一人で行け、遠くへ行きたいときはみんなで行け」というアフリカのことわざがあります。私たちが実現しようとしている世界は、容易に実現できるものでなく、遠い目標であるかもしれません。しかしゆっくり進んでいく余裕もありません。私たちは「速く、遠くまで」行かなければならないのです。

▼特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ 設立趣旨書 (全文は [こちら](#))



# ＜2022年度 活動計画 概要＞

## ＜社会教育事業＞

- ・チェンドリ
- ・GCI
- ・ICCAT

## ＜人材育成助成事業＞

- ・PT
- ・DEEP



## ＜普及啓発事業＞

- ・源に繋がる:「アチュアルの夢」自主上映会
- ・他組織との協業やSGコンテンツの展開

## ＜経営基盤整備＞

- ・組織基盤の整備  
(事業マネジメントチームの設置)
- ・広報の強化
- ・ファンドレイジングの強化
- ・理事等選出制度の検討





# 経営基盤整備に関する活動予定



# ＜2022年SG経営基盤整備＞

## 1.組織基盤の整備：組織の仕組みと戦略の検討

### ＜検討、整備の観点＞

- ・事業横断の事務連携
- ・適正な報酬の支払い（原資確保はファンドレイズチームと連携）
- ・情報管理とコンプライアンスの徹底



①「事業マネジメントチーム」の設置と組織図

②「業務と人件費予算一覧」の開示



# ＜組織改編のキモ＝事業マネジメントチームの設置＞

## 事業マネジメントチーム

### ＜役割＞

1. 理事の方針決定をサポートするために、組織の戦略を策定し理事に提案する。
2. 戦略について理事の承認を受けた後、各事業担当者や事務局と協力し、その実施を担う。

### ＜立ち位置や動き方＞

理事と各事業担当者や事務局間の、情報共有や業務遂行のハブとして動く

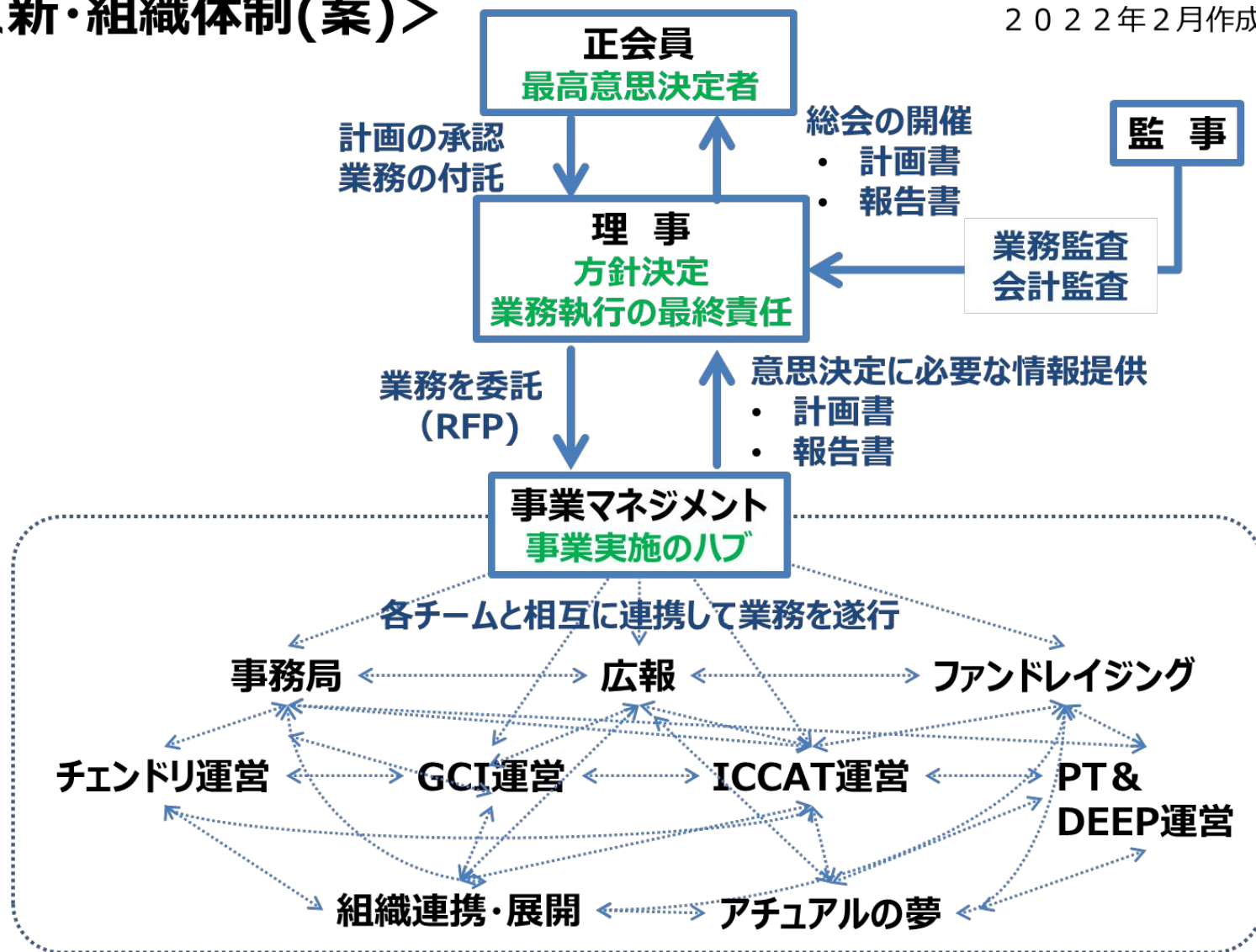




# <新・組織体制のモデル図>

## <新・組織体制(案)>

2022年2月作成





# ＜新組織承認後の進め方＞

## 1. 事業マネジメントチームを編成する

遅くとも4月には業務をスタートできるようにチーム編成したい。  
メンバーの募集方法や要件などもまだ未定のため、そこから。

現状のチームメンバー（仮）

- ・桑原康平
- ・佐藤さわ
- ・岩瀬淑乃

## 2. 本事業計画の内容の優先順位付けをし、理事に提案する。



# ＜業務と人件費予算一覧＞

この一覧は、SGの組織を運営し事業を実施していくための仕事を洗い出し、それを誰が担い、いくらかの予算をつけようとしているのかを一覧にしたものです。

透明性と公平性を担保するため、

また、コミュニティのみなさんの業務参加を促すために公表しています。

\* 業務の中には執行内容により能力や経験など担当条件があるものもあります。

実際のシートは右記リンクからご覧ください：[業務と人件費予算一覧](#)

事業区分	部門	業務概要	業務詳細	2022予算 (円)	予算の考え方	担当者担当予定者	2/2現在 ステータス
社会教育事業	チェンドリ	主催チェンドリ事務	主として毎月の主催チェンドリに関わるすべての事務作業	144,000	=月12000円×12ヶ月	桑原康平、佐藤さわ	進行中
		主催チェンドリファシリ	毎月の主催チェンドリのファシリテーター	144,000	=月12000円×12ヶ月	毎月募集	進行中
		人数カウント	チェンドリの開催日、開催地、参加者、ファシリテーターを記録	10,000	年間	明恒次郎	進行中
		eラーニング定期	eラーニング運用に関する事務	60,000	=月5000円×12ヶ月	佐藤さわ	進行中
		(臨時)コンテンツ見直し (臨時)他組織チェンドリ展開	チェンドリのコンテンツをSGとして見直す 企業、行政、教育、他非営利団体等にチェンドリを展開する	200,000	=50000円×4名	未定	着手前
	GCI	運営実務	GCIの運営	300,000	150,000円×2期	桑原康平、山田加奈子、野田浩平、廣川慶俊、池山康之、野崎安澄、大飼孝紀	進行中
		GCI事務局	GCIに関わるすべての事務作業	200,000	100,000円×2期	清野健太郎	進行中
		GCIコンテンツ修正	新しいコンテンツの翻訳	200,000	100,000円×2期	関口守	進行中
		GCI通訳	ギャザリングの通訳	80,000	20,000円×2名×2期(本当は2名必要)	関口守・杉原めぐみ	進行中
		(臨時)モジュールN	モジュールNをSGとしてオーestrライズする	150,000	=50000円×3名	未定	着手前
ICCAT	運営実務	ICCATの運営	160,000	20,000円×4名×2期	野崎安澄、鈴木核、野田浩平、清野健太郎	進行中	
	モデレーター	ICCATのモデレーター	160,000	20,000円×4名×2期	野崎安澄、鈴木核、野田浩平	進行中	
	通訳(ライブ)	ライブの通訳	120,000	15,000円×4名×2期	未定	進行中	
	通訳(ギャザリング)	ギャザリングの通訳	80,000	20,000円×2名×2期	未定	進行中	
人材育成事業	チェンドリ(DEEP)	DEEPリーダー	DEEP開催時の講師	56,000	(暫定)1日14000円×1日×2名×2期	桑原康平、小谷真可、高橋安芸子、生田早智江	進行中
		DEEPアシスタント	DEEP開催時のアシスタント	10,000	(暫定)1日5000円×1日×2期	高橋安芸子、法川薫子、塚田康盛	進行中
		DEEP事務局	DEEPに関わるすべての事務作業	40,000	(暫定)20,000円×2期	法川薫子	進行中
GCI	(新設)モデレーター研修	モデレータの質を高め、維持する	180,000	=1期30000円×3名×2期 SGより30000円、参加費より39000円	野崎安澄・桑原康平	進行中	
普及啓発事業	源につながる事業	アチュアル上映会	69,000		鳥谷節愛、川田照義、野崎安澄	進行中	
経営基盤整備	全体運営	(新設)事業マネジメント	アチュアル上映会の開催 理事が業務執行を行うための戦略を検討し、また、理事からの付託を受けて実際に業務を行う(各事業担当者は入らない) 理事会や、戦略検討ミーティングの状況を記録し、コミュニティに共有する	396,000	=12000円×3名×11ヶ月	岩瀬源乃、桑原康平、佐藤さわ	着手前
		議事報告等		60,000	=月5000円×12ヶ月	佐藤さわ	進行中
		総会準備(年1回)2022分	総会に関する準備事務全般	50,000		岩瀬源乃、川田照義、明恒次郎、野嶋成美、小川愛、山田加奈子	進行中
		(新設)ハートキーパー	総会に際して意欲を払い、メンバーと協力して必要な対応を行う 2022の役員改選にあたり、より主体的	170,000	=月10000円×12ヶ月と臨時予算5万円	桑原康平	進行中

# <2022年SG運営事業計画(事業計画詳細・予算案)>

## 【事業計画詳細】

下記リンクからご覧ください

[2022年SG事業計画詳細](#)

事業区分	大項目	中項目	小項目	2022年12月までのゴール	指標:ゴール達成は何基準に判断するか	方法 具体的に何を行うこと	予算控数	
社会教育事業	チェンドリ	SG主催チェンドリ	・毎月開催 ・他事業との連携	・GCIへの誘致 ・参加者数の目標達成	・チェンドリ参加者の○%がGCIに参加している ・平均参加者数が8名以上である	・広報チームとの連携 ・GCIとの連携 ・事業横断ミーティングの実施	済 288,000円	
		チェンドリ全般	・プレスリリースと宣言 カードの管理	送付依頼がある都度、対応する。				済 ※事務所管理全般に 含む
			・チェンドリ開催参加者 カウント	・例年通り ・他にもっとカウントのための良い方法がないかを検討			Facebookグループの投稿に意識を払い、場所など狭めている人にリマインドする	済 10,000円
			・ファンリテーター対応 &管理	・例年通り ・対応は従来通り、管理はとくに実施しない(リソース不足)→今後DEEPチームで検討するかどうか (2021年12月完了予定が遅延中、3月を目標に対応予定)				なし
			・マテリアルのオープン ソース化	・例年通り ・対応は従来通り、管理はとくに実施しない(リソース不足)→今後DEEPチームで検討するかどうか (2021年12月完了予定が遅延中、3月を目標に対応予定)				なし
		eラーニング		ルーティン対応業務 (コンテンツ見直しは下記○行の事業に含む) (SDGsを盛り込む、企業に展開できるようにする、eラーニングを見直すなど、チェンドリの内容を再検討し、必要な場合は新規独自プログラムを開発することも視野にいれてゴールを設定) (「eラーニング」他機関提供)の内容も含み、連携して行う)				済 60,000円
		(臨時)チェンドリコンテンツ見直し	チェンドリをより多くの人に届けることを目的にしたコンテンツの見直し				済 200,000円	
		(臨時)他機関展開	教育機関や企業・行政、NPO法人等他機関への展開	・企業とのコラボプロジェクト ・教育機関や学校へのアプローチ ・NPO等へのアプローチ			済 200,000円	
		GCI開催		・年2回開催 ・参加者数の確保 ・事業横断連携	・年2回開催 ・参加者数○人	・詳細は運営チームが決定 ・広報チームとの連携	済 780,000円	
		(臨時)モジュールNの検討	モジュールNをSGとしてオーストラライズする	SGとしてのオーストラライズ		内容の精査	済 150,000円	
人材育成事業	ICCAT	ICCAT開催		・年2回開催 ・参加者数の確保 ・事業横断連携	・年2回開催 ・参加者数○人	・詳細は運営チームが決定 ・GCIチームとの連携	済 390,000円	
		チェンドリ	DEEP		・年1回開催 ・参加者数の確保 ・ファシリテーション ・事業横断連携	・年1回開催 ・参加者数○人	・運営チームの結成と意思決定 ・チェンドリチームとの連携	済 106,000円
	GCI	モデレータ研修	モデレータの質の確保をめざす	モデレータの質の確保ができています		OJT方式(モデレータミーティングの開催)	済 180,000円	

## 【予算案】

下記リンクからご覧ください

[2022年度予算案](#)

令和4年度（2022年度）活動予算書			
令和4年1月1日から 令和4年12月31日まで			
特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ			
(単位:円)			
科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			1,440,000
2 受取寄附金			300,000
3 事業収益			
社会教育事業収益	1,659,000		
人材育成助成事業収益	120,000		
普及啓発事業収益	120,000	1,899,000	
4 受取助成金等			0

# ＜2022年SG経営基盤整備の計画まとめ＞

## 1.組織基盤の整備

- ・組織の仕組みと戦略の検討
- ・適正な報酬支払い
- ・情報管理とコンプライアンスの徹底
- ・ハートキーパーの新設
- ・役員等選考に関する継続検討

- ・「事業マネジメントチーム」の設置
- ・「業務と人件費予算一覧」の開示

## 2.広報

- ・ウェブサイトの見直し(ママボノさんの成果物を受けた企業向けページの作成を含む)
- ・Google広告の活用
- ・コミュニティメンバーによるSGを広く知らしめる活動全般(講演・プログラム提供など)

## 3.ファンドレイジング

- ・補助金・助成金のリサーチと申請
- ・マンスリーサポーター制度の検討

## 4.コミュニティを育む

- ・ほっとコミュコール、ウェルカムコール、PAコールの継続開催





# 2022年の活動予定 ＜社会教育事業＞



# <チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム>

## 1.NPO法人主催チェンドリ開催(毎月開催、年12回予定)

- ・2021に確立できたチェンドリ事務局体制で引き続き行う。
- ・ファシリテーターの多様性の担保をどうするかが課題？

## 2.チェンドリe-learning(イーラーニング)の活用

- ・e-learning化は完了、更なる活用の課題の明確化、実践

## 3.組織向けチェンドリの内容検討

- ・ママボノさんプロジェクトで修正すべき課題が見えてきた
- ・SDGs文脈にまったく触れていないなど、改善すべき点はいくつかある。(予算20万)

## 4.ファシリテーター向けプログラム「DEEP」⇒人材育成事業へ

- ・チェンドリマテリアルはオープンソース化し、誰でもチェンドリを開催できるようになる。  
そのような状況でSGでファシリテーターは、どのような人となるのか。  
その検討も含めつつ、高いクオリティのファシリテーター創出プログラムを年2回開催予定。



# <ゲーム・チェンジャー・インテンシブ>

## 1.1月期・6月期の実施

- ・1月期: 60名目標キャンペーン
- ・6月期: webマーケティングの実施

## 2.お世話係(モデレーター)サポート&強化

- ・お世話係(モデレーター)2人体制
- ・お世話係のサポートの仕組み強化: お世話係ミーティングを増やす。お世話係をお世話する人の常設

## 3.他事業、広報との連携

- ・他事業(チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム、プログラム・フォー・トランスフォーメーション(PT)、気候アクショントレーニング(ICCAT))、広報との連携

## 4.モジュールNの展開

- ・モジュールNはGCI日本語版オリジナルのモジュールで、モジュール1～8までを土台とし、日本のゲームチェンジについて感じ、考える機会として提供しています。(N=日本)
- ・2020年8月期からモジュールに追加されましたが、2022年度は日本でのゲームチェンジに繋げるためにブラッシュアップしていきます。

## 5.コミュニティ・マッピングの作成

- ・GCI 修了生やSGの活動紹介をするため  
→ 日本中の環境系コミュも含め、お互いにつながり合えるネットワーク作り





# <気候アクショントレーニング (ICCAT) >

## 1.2021年度と同様、4月期と9月期開催予定

- ・GCI参加者から各回最大18名程度募集  
(コースをリードするモデレーターの数による)



## 2.新モデレーター(コースをリードする人)追加の可能性検討中

- ・昨年度まではモデレーターは鈴木核・野崎安澄・野田浩平3人だった
- ・理由としては、パイロット版であったことで、毎週新しいコンテンツの翻訳などが必要、かつ全世界のモデレーターMTG(英語)に参加する必要があったため
- ・今年は昨年度参加者の中から新たにモデレーターをお願いする可能性も検討中

## 3.ICCAT修了生コミュニティのプラットフォーム作りを検討中

- ・情報交換やお互いの継続的な学びのサポートのためのプラットフォーム作りを検討

=====

参考:Pachamama Allianceでは2021年10-12月期にグループ単位での気候アクションのサポートをトライアルし、2022年は外部(ウィスコンシン州のコミュニティオーガナイズングのプログラムを行う団体)と組んで集団に対してのサポートを行うトレーニングを実験予定。



# 2022年の活動予定 ＜人材育成助成事業＞



# <プログラム・フォー・トランスフォーメーション>

チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム(チェンドリ)の  
「ファシリテーター・トレーニング」をベースに開発され、  
2019年度からプログラム提供を開始。

- ①自分とつながり、自分自身が本当に活動したいことの発見をサポートする
  - ②チェンジ・ザ・ドリームシンポジウムを提供しようという人を育成する
- の二つの意図を持ちつつ①を重点として開催してきた(2021年度は1回開催)

## <現状>

- ・上記のうち②の要素は新プログラム「DEEP」が担うこととなった。
- ・ゲームチェンジャー・インテンシブ(GCI)参加者が次のステップとしてプログラム・フォー・トランスフォーメーション(PT)に参加するケースが多い。
- ・2021年度、気候アクショントレーニング入門(ICCAT)パイロット版の中で、参加者が自分が具体的に取り組む活動が固まっていないケースが見られたが、PTの①の要素をICCAT参加前に提供できると有効との知見が得られた。

## <今後>上記をふまえ、

- ・PTをGCIとICCATの橋渡しの位置づけのプログラムとして見直すことが望ましいと判断した。
- ・2022年度はICCATのチームと連携して内容を見直す期間とする。
- ・新プログラムとしては2023年度以降の開催を目指す。

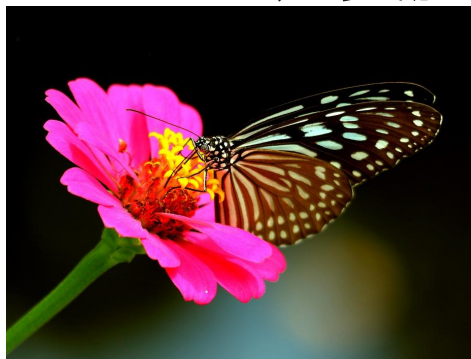
# <DEEP>



DEEPは、チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム(チェンドリ)のファシリテーター支援のためのプログラムです。

チェンドリを自分のコミュニティ等で伝えたいが、いきなり開催するのは不安、という層を想定し、ファシリテーターとしてのbeing,doing,becomingを意識してもらえるようにというコンセプトでシンポジウム開催の背中を押すプログラム。2021年12月にパイロット開催。

**2022年は9月もしくは10月実施を計画中**





# 2022年の活動予定 ＜普及啓発事業＞

# ＜映画「アチュアルの夢」自主上映会＞

アチュアルの夢事業の旗持ちリーダー役 鳥谷部愛さんが持続可能な生き方を実現するため沖縄県の久米島に移住！  
久米島から担当。

## 【『アチュアルの夢』自主上映会予定】

▼『アチュアルの夢』自主上映会は、従来、会場を借りて対面で  
自主上映会をする形式で開催してきました。

しかし、2020年からは、新型コロナウイルスの影響で同じ場所に集って  
開催することが難しくなりました。

2021年9月よりオンライン形式で自主上映会を開催することが決定し、  
月に1回NPO法人セブン・ジェネレーションズ主催でオンライン自主上映会を  
開催しています。みなさんがオンライン自主上映会を開催していただくことも  
できます！

映画『アチュアルの夢』のDVDは、残りわずかとなっています。

アマゾン熱帯雨林に気軽に行けなくなった今だからこそ、

DVDをご覧になって、アチュアルの元へ旅してみませんか？

映画「アチュアルの夢」DVDブックレットの注文はこちら

[info@sevendgenerations.or.jp](mailto:info@sevendgenerations.or.jp)



自主上映会は、以下の手順で開催できます。

- (1) 開催申請をする (<https://goo.gl/forms/6hK4PJCGmLmvPtLv>)
- (2) 開催する
- (3) 開催報告をする (<https://goo.gl/forms/15HNUjVdv7qb1ug03>)
- (4) 参加者(中学生以上) × 500円をセブン・ジェネレーションズへ支払い

※ 参加費はご自由にお決めいただくことができます。  
詳細はHPをご覧ください。

<https://www.sevendgenerations.or.jp/achuar-events>



# <他の組織との協業やSGコンテンツの展開>

チェンドリを初めとするSGプログラムは、主に対個人で開催されています。それに加えて、ゲームチェンジャーの仲間を速く沢山生み出すために、対組織に積極的に展開することを考えています。同時に、SG、タスクチーム、ファシリofの全てに資金が周り、活動を持続可能にする仕組みづくりにも取り組めます。

このような、SGそのものの普及・啓発ともいえる活動、営業・渉外活動は理事の役割の一つでもあり、今期は理事を含め積極的に取り組んでいきたいと考えています。

## ◆企業のCSRやSDGs関連活動との連携

企業研修、プロボノを受けることでつながりをつくる、など  
→ 大手コンサル、社会教育企業などと協議中。

## ◆高校・大学など教育機関の授業実施やプログラム提供

→ 私立大学のゼミ、新設学部での提供を先方と協議中。

## ◆他のNPOの職員、会員向けプログラムとして提供

→ 対象組織を模索中